

調査結果の概要

この資料は、土地集計で公表する結果のうち、調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果から作成している。調査票甲、調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果※とは、集計の対象範囲等が異なるため、比較を行う際には留意されたい。

※あいちの住宅・土地「住宅及び世帯に関する基本集計結果」「住宅の構造等に関する集計結果」

本調査では、現住居の敷地以外の宅地などを複数所有している場合、それぞれの区画の取得方法の詳細について最大3件目までを調査しており、この資料の図1は、調査で把握した取得方法の合計を総数として割合を算出している。

1 世帯が所有している土地の状況

現住居の敷地を所有している世帯は 46.1%
現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は 11.2%

主世帯（322 万 6000 世帯）のうち、現住居の敷地を所有している世帯は 148 万 6000 世帯（主世帯に占める割合 46.1%）となっている。

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は 36 万世帯（同 11.2%）となっており、このうち現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯は 27 万 1000 世帯（同 8.4%）となっている。＜表1＞

表1 土地の所有状況別主世帯数－愛知県（2023年）

	総数	土地を所有している世帯		
		現住居の敷地を所有している	現住居の敷地以外の土地を所有している	現住居の敷地以外の宅地などを所有している
実数（世帯）	3,226,000	1,486,000	360,000	271,000
割合（%）	100.0	46.1	11.2	8.4

2 世帯が所有している現住居の敷地以外の宅地などの状況

現住居の敷地以外の宅地などの取得方法は、「相続・贈与で取得」が 69.9%

現住居の敷地以外の宅地などの所有件数について、取得方法別に割合をみると、「相続・贈与で取得」が 69.9%と最も高く、次いで「個人から購入」が 16.6%、「会社・都市再生機構（UR）などの法人から購入」が 8.7%などとなっている。＜図1＞

図1 現住居の敷地以外の宅地などの取得方法別所有件数の割合－愛知県（2023年）

